

授業概要

学習指導要領に示されている内容を踏まえ、小学校体育科の目標、各運動領域等の内容構成を理解した上で、各運動領域等の指導方法を理解することを目的とする。その際、実際に実技を通して各運動領域等の知識・技能を体感することを通して運動共感能力を養わせることにより、運動が苦手な児童も楽しく体育授業をすることができる指導法について指導する。授業方法としては、学習指導要領に書かれている運動領域等についての実技をメインとした授業を行う。第15回では、運動指導方法にかかわるレポートの作成を行い、第16回で提出する。

授業計画

第1回	《講義》【ガイダンス】 授業の概説と進め方、小学校体育科各運動領域等の内容構成について
第2回	《実技》「体づくり運動系」：体ほぐしの運動、多様な動きをつくる運動、体力を高める運動
第3回	《実技》「陸上運動系」：走の運動遊び、かけっこ・リレー、短距離走・リレー
第4回	《実技》「陸上運動系」：跳の運動遊び、幅・高跳び、走り幅・高跳び
第5回	《実技》「陸上運動系」：投の運動遊び、投の運動
第6回	《実技》「器械運動系」：鉄棒を使った運動遊び、鉄棒運動
第7回	《実技》「器械運動系」：マットを使った運動遊び、マット運動
第8回	《実技》「器械運動系」：跳び箱を使った運動遊び、跳び箱運動
第9回	《実技》「ボール運動系」：ゴール型ゲーム、ゴール型
第10回	《実技》「ボール運動系」：ネット型ゲーム、ネット型
第11回	《実技》「ボール運動系」：ベースボール型ゲーム、ベースボール型
第12回	《実技》「表現運動系」：スポーツ教育モデルを活用したリズムダンス
第13回	《実技》「アダプテッド体育」：アダプテーションゲーム
第14回	《実技》「ICT 機器を活用した体育授業」：ICT を活用した運動ポイント理解、他者との交流
第15回	《演習》「運動指導方法についてのレポートの作成」
第16回	「レポートの修正：提出」

到達目標

- 学習指導要領に示された小学校体育科の目標と内容を理解することができる。
- 学習指導要領の内容を基に、実技を通して児童の学習意欲を高める教材・教具を理解することができる。
- 子どもの体力の発達段階を考慮した各運動領域等の運動技能、指導方法について理解することができる。
- 学習した各運動領域等について、運動技能や指導方法についてのレポート（実際に授業を行う場合の授業案）を作成することができる。
- 仲間と協同して、各運動領域等の実技を学習することができる。

履修上の注意

- 第1回目の授業では、本講義の概要と方針を伝え、模擬授業のグループ分けを行うため、必ず出席すること。
- 第2回～第14回の実技演習の際は、運動に適した服装で臨み、体調不良等の場合は遠慮なく申し出ること。
- 第2回～第14回では、実技評価を実施する。

予習復習

- 授業に向けた、事前配布の資料（実技指導内容）について事前に目を通して運動のイメージを作成しておくこと。

評価方法

次のように総合評価する。①実技評価：60% ②レポート：40%

テキスト

- 適宜実技指導内容の印刷資料を配布する。

〈参考文献〉

文部科学省「小学校学習指導要領解説体育編」東洋館出版社,2018